

令和元年度

放課後等デイサービスひなた 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用児の調整をおこない、効果的な療育が出来るように環境設定に努めています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置されるようにシフトを作成しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内に段差などはありません。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		計画に基づいた療育を実施できているものの、その評価においては、職員全員がそろう時間を毎日確保する事が難しい。しかし、業務内容を確認するなどしながら時間を確保するために努力している。 具体的課題：C（チェック）A（行動）の間のカンファレンスがもっと必要。事務員・送迎員を迎え、やと時間的に可能になってきた。職員の一人一人のスキルを上げる努力が必要だと感じています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実際にアンケートの結果を受けて業務改善できることはすぐに改善してあります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者からの評価についてはすぐにHPに公表しました。また、個人情報等に留意し、活動記録も公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		正式な外部評価ではありませんが、基幹支援センターとの連携を強めて、意見をいただけるような体制をとっています。 具体的な課題：今後第三者評価委員会を事業所の中で持たなければならぬと感じています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			施設内研修を1ヶ月に1回、おこなっている。 また、午前のカンファレンス・ヒヤリハットを使ったケースごとの研修を心がけています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談・情報共有を大切にしつつ、各種発達検査、スケールを利用してアセスメントをおこない、個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを利用しているが、今後職員がその情報を十分に使いこなせるように研修を重ねて行く予定です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別の支援をおこなう際、立案をグループでおこなうことができない。しかし、グループ療育は、必ずチームでおこなっています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個別の目標を軸にして様々な視点から活動プログラムを検討しています。

適切な支援	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		計画的な療育をおこなっている。子育て支援・余暇活動の時間も織り交ぜてサービスを提供している。
-------	----	-------------------------------------	---	--	--

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別とグループを分け曜日によって変えています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、カンファレンスをおこない、環境設定から療育の内容までを確認している。 時間を確保出来るように、既存の療育ソフトを導入し効率的な業務を心がけています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後はHUGの入力等があるので全員分はできないが、大きく目立った子は話し合います。 詳しい内容は翌日の朝話し合います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			HUGの保護者公開だけでなく、ケア記録等にも支援した内容を記入しています。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者からも意見を出して頂きながらモニタリングをおこない、利用日の調整などもおこなっています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			全員がガイドラインを持ち活動しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			開催するに当たり、相談支援事業所からの相談にも応じています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			校時表等を学校や保護者の方からいただき、それをもとにお迎えの日時を学校に伝える。という形で連携しています。
	22	（医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合）子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療ケアの必要なお子さんは利用していません。 （診療情報提供書を頂いた事例はあります。）
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援事業所と発達支援センターとは連携していますが、幼児教育施設等とは連携出来ずにいます。相談支援事業所のスキルアップや保育所等訪問事業の拡大など課題が大きいと感じています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	支援シートを作成し、お渡しすることになっています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			連携をして、情報共有をはじめたところです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			児童館等子どもの活動できそうなところを探し、活動できる場所を探し、交流に勤めています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	ぜひ、機会があれば参加したいと願っています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際やHUGを使つての情報共有など大切にしているサービスの一つです。	

29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		正規のスタイルのペアレントトレーニングは取り入れていませんが、ピアサポートなどの保護者向けの活動をおこなっています。 ニーズがあれば対応の準備はあります。
----	--	---	--	--

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			しっかりと時間をとっておこなっています。また、運営内容に変更がある場合には保護者会を開催しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			一人一人の子どもはもちろん保護者様にも寄り添って支援しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を年3回開催しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情に関してはヒヤリハットを使用し、迅速に行動するように心掛けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報は月1回、郵送しています。毎日活動記録の利用保護者に写真付きで送っています。おたよりも毎月発行しています。
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			鍵付きキャビネットにいれ、日常的に鍵を閉めています。また個人情報が記載されている用紙の扱いについても職員間で声を掛け合い注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもは療育の中で認知の特性についてアセスメントした上でコミュニケーション手段を決めておこなっています。保護者に対しても同様にできる限りの配慮をおこなっています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			「ひなたカフェ」と「夕暮れカフェ」という地域交流イベントを行い、マンション・地域住民の参加を呼びかけました。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			すべて、ホームページ上で公開しています。また、公開していることを保護者の方にも周知してあります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			事業所としての地震の避難訓練は、利用児全員が経験できるように1週間の日程で毎日おこないました。また、来年度は地域の合同訓練に参加する計画を立てています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止責任者が県の講習会に参加。内容について周知するとともに必要な支援マニュアル等を作成しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		対象となる児童は現在いないが、来年度に向けて検討をはじめています。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			今年度、対象となる児童はいませんでした。重要事項説明の契約に盛り込みしっかりと説明をさせていただいています。	

43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例集を作成しています。事例としてはまだまだ少ないので、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えます。
----	----------------------------	---	--	--